令和８年度 第２四半期

厚生年金保険給付組合積立金　運用状況

東京都職員共済組合

目次

・令和８年度　　第２四半期運用実績（概要）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２

・令和８年度　　第２四半期市場環境　（その１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３

・令和８年度　　第２四半期市場環境　（その２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４

・令和８年度　　厚生年金保険給付組合積立金の資産構成割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５

・令和８年度　　厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６

・（参考）前年度　厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７

・令和８年度　　厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ８

・（参考）前年度　厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ９

・令和８年度　　厚生年金保険給付組合積立金の資産の額　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ10

・資産運用に関する専門用語の解説　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ11

令和８年度　第２四半期運用実績（概要）

運用収益額 （第２四半期）	▲４５億円 ※総合収益額 （＋３３億円 ※実現収益額）
運用利回り （第２四半期）	▲１．３８％ ※時間加重収益率 （＋１．３４％ ※実現収益率）
運用資産残高 （第２四半期末）	３，４２１億円

※　情報公開を徹底する観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。
　総合収益額は、各期末時点での時価に基づく評価であるため、評価損益を含んでおり、市場の動向によって変動するものであることに留意が必要です。
（注 1）時間加重収益率は、運用手数料控除前のものです。
（注 2）実現収益率は、運用手数料控除後のものです。
（注 3）上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

令和８年度　第２四半期市場環境（その１）

【各市場の動き（令和８年６月～令和８年９月）】

国内債券	10年国債利回りは上昇しました。期初は、物価上昇への警戒や日本銀行の追加利上げ観測を背景に、利回りは上昇基調で推移しました。期央には、国債需給への懸念や海外金利の上昇も意識され、上昇幅を拡大しました。期末には、日本銀行が政策金利を1.25％に引き上げたことから金利先高観が強まり、利回りは高水準で推移しました。
国内株式	国内株式（TOPIX）は小幅な上昇となりました。期初から期央にかけては、企業業績への期待やAI・半導体関連銘柄の上昇が相場を支えました。一方、期末には、原油価格の上昇を背景としたインフレ懸念や国内外の金利上昇が重荷となり、株式市場全体に利益確定売りが広がりました。半導体関連株は底堅く推移し、TOPIXは期を通じて小幅であるものの上昇基調となりました。
外国債券	米国10年国債利回りは上昇しました。期初は景気・物価指標や金融政策の先行きを見極める動きから、方向感に乏しく推移しました。期央以降は、原油価格の上昇によるインフレ再燃への警戒やFRBの金融引締め姿勢を背景に、利回りは上昇しました。 ドイツ10年国債利回りも上昇しました。エネルギー価格の上昇を受けたインフレ懸念に加え、ECBの金融引締め姿勢が意識され、期末にかけて利回りは上昇基調で推移しました。
外国株式	米国株式（NYダウ）は下落しました。AI関連投資への期待や中東情勢緩和観測が相場を支える局面もありましたが、期末にかけてはインフレ懸念の高まりや追加利上げ観測、中東情勢の不透明感などから下落しました。 欧州株式（ドイツDAX）は下落しました。景気回復期待を背景に上昇する場面もみられましたが、金融引締めへの警戒や景気減速懸念、中東情勢を巡る不透明感などから下落しました。
外国為替	ドル／円はドル安・円高となりました。期初から期央にかけては、日米の金融政策を巡る思惑から上下に振れる展開となりました。期末には、日本銀行の追加利上げ観測や政策金利の引上げを受けて日米金利差の縮小が意識され、円買いが優勢となりました。 ユーロ／円はユーロ安・円高となりました。ECBの金融引締め姿勢がユーロを支える場面もありましたが、日本銀行の利上げと円高基調を背景に、期末にかけてユーロ安・円高が進みました。

○ ベンチマーク収益率

	令和８年６月末～令和８年９月末
＜国内債券＞ NOMURA－BPI総合	▲1.85%
＜国内株式＞ TOPIX（配当込み）	3.79%
＜外国債券＞ FTSE世界国債インデックス （除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース）	▲6.65%
＜外国株式＞ MSCI ACWI （除く日本、円ベース、配当込み）	▲1.91%

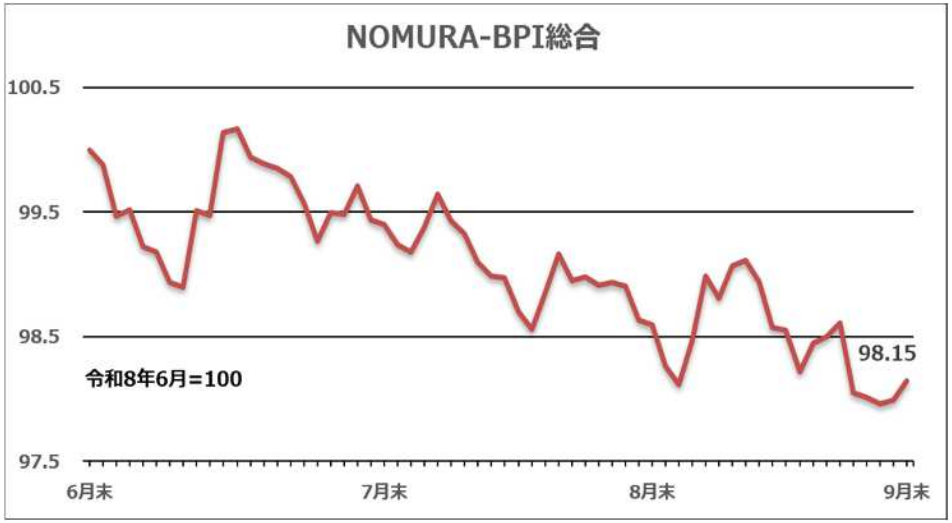
○ 参考指標

		令和8年6月末	令和8年7月末	令和8年８月末	令和8年9月末
国内債券	新発10年国債利回り　（%）	2.683	2.805	2.957	3.065
国内株式	ＴＯＰＩＸ　（ポイント）	3,994.76	4,003.30	4,156.29	4,108.65
	日経平均株価　（円）	70,062.32	64,362.02	66,311.93	66,753.72
外国債券	米国10年国債利回り　（%）	4.465	4.735	4.750	5.285
	ドイツ10年国債利回り（%）	2.860	3.206	3.324	3.586
外国株式	ＮＹダウ　（ドル）	52,319.20	52,485.03	53,185.90	50,906.05
	ドイツＤＡＸ　（ポイント）	24,995.81	25,629.24	26,258.11	25,199.19
外国為替	ドル／円　（円）	162.55	157.40	159.74	157.41
	ユーロ／円　（円）	185.68	181.43	185.59	178.35

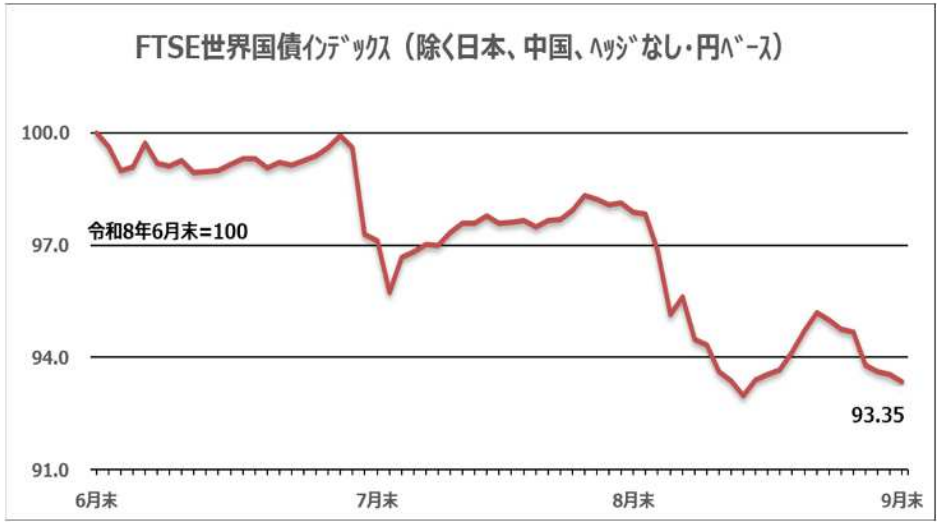
令和８年度　第２四半期市場環境（その２）

ベンチマークインデックスの推移（令和８年度第２四半期）　※令和８年６月末時点の指数を「100」としてグラフ化しています

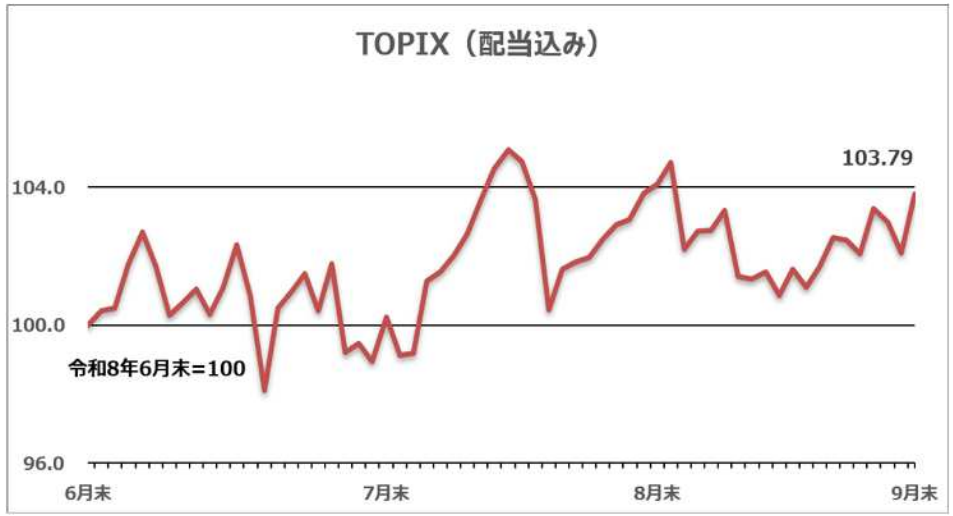
【国内債券】



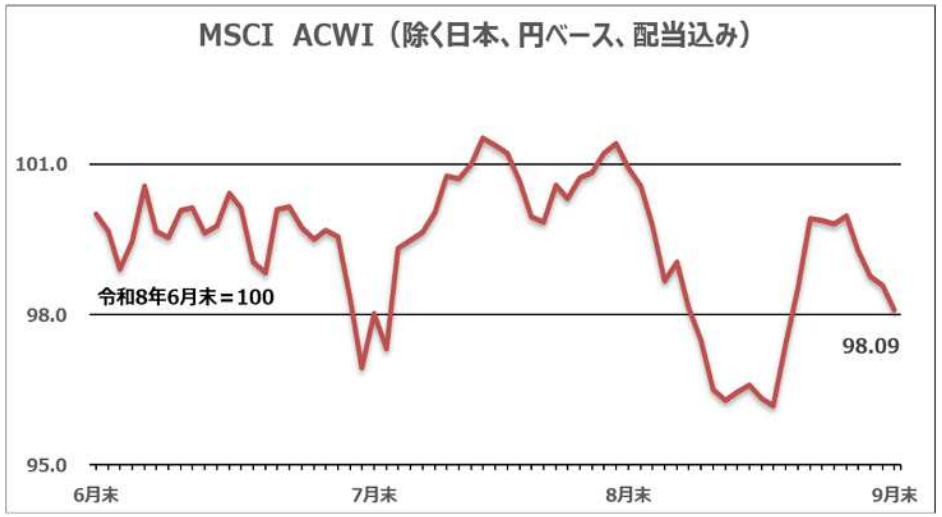
【外国債券】



【国内株式】



【外国株式】



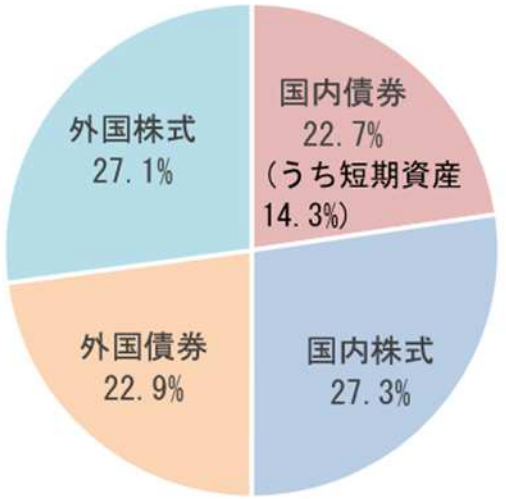
令和８年度　厚生年金保険給付組合積立金の資産構成割合

（単位：%）

	令和７年度	令和８年度			
	年度末	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	年度末
国内債券	21.7	17.0	22.7	―	―
うち短期資産	(13.8)	(9.2)	(14.3)	―	―
国内株式	25.5	27.7	27.3	―	―
外国債券	25.2	26.0	22.9	―	―
外国株式	27.7	29.4	27.1	―	―
合計	100.0	100.0	100.0	―	―

（注１）基本ポートフォリオは、国内債券２５%（±２０%）、国内株式２５%（±９%）、外国債券２５%（±７%）、外国株式２５%（±９%）です（括弧内は、許容乖離幅）。
（注２）上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
（注３）上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。
（注４）各ファンドで保有する短期資産は、原則として当該ファンドが主に持つ資産の資産区分に計上しています。
（注５）短期資産は未払金等を考慮しているため、マイナスの数値になることがあります。

第2四半期末　運用資産別の構成割合



令和８年度　厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り

○令和８年度第２四半期の時間加重収益率は、▲１．３８％となりました。なお、実現収益率は、１．３４％です。
○資産別時間加重収益率は、国内債券は▲０．６５％、国内株式は３．９１％、外国債券は▲６．６４％、外国株式は▲２．１５％となりました。

（単位：％）

	令和８年度				
	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	年度計
時間加重収益率	9.35	▲ 1.38	―	―	7.84
国内債券	▲ 0.49	▲ 0.65	―	―	▲1.14
（うち短期資産）	(▲0.12)	(0.08)	―	―	(▲0.03)
国内株式	13.97	3.91	―	―	18.43
外国債券	3.07	▲ 6.64	―	―	▲3.77
外国株式	17.01	▲ 2.15	―	―	14.49

（単位：％）

	令和８年度				
	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	年度計
修正総合収益率	9.16	▲ 1.34	―	―	7.53

（単位：％）

	令和８年度				
	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	年度計
実現収益率	4.11	1.34	―	―	5.34

（注１）各四半期および「年度計」の収益率は期間率です。
（注２）時間加重収益率は、運用手数料控除前のものです。
（注３）修正総合収益率と実現収益率は、運用手数料控除後のものです。
（注４）上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

（参考）前年度　厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り

（単位：%）

	令和７年度				
	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	年度計
時間加重収益率	5.27	5.61	6.97	0.72	19.78
国内債券	0.02	▲ 0.41	▲ 0.89	▲ 0.43	▲1.71
（うち短期資産）	(0.07)	(0.11)	(0.11)	(0.07)	(0.36)
国内株式	8.03	10.11	9.35	3.96	35.23
外国債券	1.49	2.94	6.96	0.33	12.11
外国株式	8.21	8.47	9.59	▲ 1.45	26.76

（単位：%）

	令和７年度				
	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	年度計
修正総合収益率	4.61	5.48	6.57	0.68	17.72

（単位：%）

	令和７年度				
	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	年度計
実現収益率	2.91	4.38	2.57	2.25	12.06

令和８年度　厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額

○令和８年度第２四半期の総合収益額は、▲４５億円となりました。なお、実現収益額は、３３億円です。
○資産別の総合収益額については、国内債券は▲４億円、国内株式は３５億円、外国債券は▲５６億円、外国株式は▲２０億円となりました。

（単位：億円）

	令和８年度				
	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	年度計
総合収益額	283	▲45	―	―	238
国内債券	▲2	▲4	―	―	▲7
（うち短期資産）	(▲0)	(0)	―	―	(0)
国内株式	115	35	―	―	150
外国債券	25	▲56	―	―	▲31
外国株式	146	▲20	―	―	125

（単位：億円）

	令和８年度				
	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	年度計
実現収益額	96	33	―	―	129

（注１）収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
（注２）総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
（注３）上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
（注４）上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

（参考）前年度　厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額

（単位：億円）

	令和７年度				
	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	年度計
総合収益額	126	159	199	22	506
国内債券	▲0	▲2	▲5	▲4	▲11
（うち短期資産）	(▲0)	(0)	(0)	(0)	(1)
国内株式	56	76	72	37	241
外国債券	11	22	53	2	87
外国株式	59	64	79	▲13	189

（単位：億円）

	令和７年度				
	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	年度計
実現収益額	64	101	61	55	281

令和８年度　厚生年金保険給付組合積立金の資産の額

（単位：億円）

	令和７年度末			令和８年度											
				第１四半期末			第２四半期末			第３四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	712	699	▲13	559	547	▲12	792	776	▲16	—	—	—	—	—	—
（うち短期資産）	(446)	(446)	(0)	(297)	(297)	(0)	(490)	(490)	(0)	—	—	—	—	—	—
国内株式	525	824	299	512	894	381	529	935	407	—	—	—	—	—	—
外国債券	736	812	76	743	837	94	754	782	28	—	—	—	—	—	—
外国株式	507	893	386	468	948	480	472	928	456	—	—	—	—	—	—
合計	2,480	3,228	748	2,282	3,226	944	2,547	3,421	875	—	—	—	—	—	—

	令和６年度末			令和７年度											
				第１四半期末			第２四半期末			第３四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	651	643	▲8	463	457	▲6	751	745	▲6	674	664	▲11	712	699	▲13
（うち短期資産）	(437)	(437)	(0)	(252)	(252)	(0)	(482)	(482)	(0)	(406)	(406)	(0)	(446)	(446)	(0)
国内株式	537	745	208	519	762	243	493	776	283	543	848	306	525	824	299
外国債券	711	739	28	700	736	36	708	757	50	719	810	91	736	812	76
外国株式	464	759	295	442	763	321	495	827	331	501	906	405	507	893	386
合計	2,363	2,886	523	2,124	2,718	594	2,446	3,105	658	2,438	3,228	791	2,480	3,228	748

（注１）上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
（注２）上記数値（令和８年度）は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。
（注３）各ファンドで保有する短期資産は、原則として当該ファンドが主に持つ資産の資産区分に計上しております。
（注４）短期資産は未払金等を考慮しているため、簿価、時価共にマイナスの数値となることがあります。

資産運用に関する専門用語の解説

○　厚生年金保険給付組合積立金
　東京都職員共済組合が管理運用する年金積立金で、被用者年金一元化に際し仕分けられた厚生年金部分の年金積立金です。

○　退職等年金給付組合積立金
　東京都職員共済組合が管理運用する年金積立金で、被用者年金一元化の際に新たに創設された民間の企業年金に相当する年金積立金で、退職給付の一部となっています。

○　経過的長期給付組合積立金
　東京都職員共済組合が管理運用する年金積立金で、被用者年金一元化に際し仕分けられた旧職域部分の年金積立金です。

○　時間加重収益率
　時間加重収益率は、時価に基づく運用収益から、運用機関が自ら決めることができない運用元本の流出入の影響を排除して求めた収益率であり、その運用実績とベンチマーク収益率（市場平均収益率）との比較により、運用能力を評価することが可能になります。
　東京都職員共済組合では、時間加重収益率の市場平均対比での超過収益率を測定し、運用行動の自己評価と運用受託機関の定量評価に使用しています。
　（計算式）
　時間加重収益率は、次の式により日次の収益率から月次の収益率を算出し、ｎ期間の収益率を算出したものです。
　①日次の収益率＝｛当日時価総額／（前日時価総額＋（当日の資金追加額－当日の資金回収額））｝－1
　②月次の収益率＝（1＋r1）（1＋r2）・・・（1＋ｒｎ）－1　　ｒ＝日次収益率
　③ｎ期間の収益率＝（1＋R1）（1＋R2）・・・（1＋Ｒｎ）－1　　Ｒ＝月次収益率

○　実現収益額
（計算式）
実現収益額 ＝ 売買損益 ＋ 利息・配当金収入 ＋ 未収収益増減（当期末未収収益 － 前期末未収収益）

○　実現収益率
（計算式）
実現収益率 ＝ 実現収益額 ÷簿価平均残高

○　総合収益額
実現収益額に資産の時価評価による評価損益を加味することにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。
（計算式）
総合収益額 ＝ 実現収益額 ＋ 評価損益増減（当期末評価損益 － 前期末評価損益）

○　修正総合収益率
時価ベースで運用成果を測定する尺度の１つです。総合収益額を、元本平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。
（計算式）
修正総合収益率 ＝ 総合収益額 ／（簿価平均残高 ＋ 前期末未収収益 ＋ 前期末評価損益）

○　ベンチマーク
運用成果を評価する際に、相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指標を使用しています。
東京都職員共済組合で採用している各運用資産のベンチマークは以下のとおりです。

１　国内債券
・ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ総合
野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が作成・公表している国内債券のベンチマークです。

２　国内株式
・ＴＯＰＩＸ（配当込み）
株式会社ＪＰＸ総研が作成・公表している国内株式のベンチマークです。

３　外国債券
・ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース）
FTSE Fixed Income LLCが作成・公表している外国債券のベンチマークです。

４　外国株式
・ＭＳＣＩ　ＡＣＷＩ（除く日本、円ベース、配当込み）
ＭＳＣＩ　Ｉｎｃが作成・公表している日本を除く先進国及び新興国で構成された外国株式のベンチマークです。

○　ベンチマーク収益率
ベンチマークの騰落率、いわゆる市場平均収益率のことです。